

## 兵庫県

### 1. 商品名等

| 商品名   | 松の陽だまりパン   |  |
|---|--|--|
| 商品写真(イメージ等)   | 商品説明(コンセプト等)   |  |
|  | <p>災害食のパンと言え、硬くて食べづらい乾パンを想像したのではないのでしょうか？そのイメージを払拭した、乳幼児や高齢者にも食べられる、お腹に優しい商品です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①いつでも食べられる(賞味期限が長く、災害時・病気の時でも)</li><li>②どこでも食べられる(容器が災害に強く、衛生状態が維持できる)</li><li>③誰でも食べられる(乳幼児・高齢者の方にも)</li><li>④すぐに食べられる(お湯がなくても水でも)</li><li>⑤美味しく食べられる(兵庫県産の特産物、栄養価の高い食材を使用)</li></ul> |  |

### 2. 学校紹介

|        |   |     |              |
|--------|---|-----|--------------|
| 学校名    | 兵庫県立松陽高等学校  | 電話  | 079-447-4021 |
| 住所     | 高砂市曾根町2794番地の1  | FAX | 079-447-4023 |
| 担当者    | 北川 欽一   |     |              |
| URL    | <a href="http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/shoyo-hs/htdocs/">http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/shoyo-hs/htdocs/</a> |     |              |
| E-mail | shoyo-hs@hyogo-c.ed.jp  |     |              |

普通科では、文理類型(類型Ⅱ)、総合類型(類型Ⅰ)、地域スポーツ類型(特色選抜入学者)と3つの類型があり、それぞれの進路目標に応じた学習を行っています。商業科では、ビジネス活動を展開するための基礎的な知識やスキルの習得を目指すとともに、地域の方の指導を受け、生徒が商品の企画販売を行う「アントレプレナー入門」や学校や地域の広報活動、地域に根差した商品開発の学習等も行っています。生活文化科では、衣食住・保育・福祉・環境・情報など時代に対応した生活産業に従事できる能力の習得を目指しています。

また、全日制的総合的な探究(学習)の時間は「防災学習」を中心に据え、4年前より兵庫県教育委員会から「兵庫県防災教育推進校」の指定を受け、「防災ジュニアリーダー活動」にも参加しています。「生徒の面倒見一番の学校」をめざし、日々生徒の伸びしろを高める教育活動を行っています。

### 3. 実施科目等

|      |        |       |     |
|------|--------|-------|-----|
| 科目名  | 商品開発   | 単位数   | 3単位 |
| 対象生徒 | 商業科2年生 | 担当教員数 | 2名  |

### 4. 予算関係(費用)

収入は行政や他団体の補助金を申請、松の陽だまりパンの利益です。

費用は、啓発活動・募金、寄付活動・販売実習・広報活動等を年間50回程度企画・実施しているため、生徒の旅費・宿泊費、販売実習の松の陽だまりパンの試食代金等に使用しています。

また、募金で集まったお金に関しては、被災地支援(西日本豪雨災害の岡山県総社市・北海道胆振東部地震の北海道厚真町・東日本台風の長野県諏訪市)に寄付してきました。

## 5. 開発経緯等

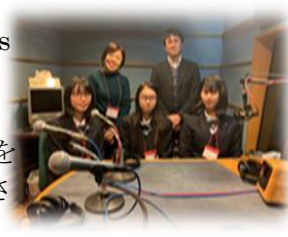
本校の「防災ジュニアリーダー」と呼ばれる2年生・3年生の計11名が東日本大震災・九州北部豪雨・西日本豪雨災害・令和元年 東日本台風等の被災地でボランティア活動を実施してきました。そのボランティア活動で「新鮮な野菜や果物が食べたい。」という被災者の「生の声」を聞いたり、避難所での便秘や体調不良に苦しんでいる方々が多いという新聞報道を見たりしたことが、このプロジェクトを始めるきっかけとなりました。

その活動報告を本校の「総合的な学習（探究）の時間・課題研究発表会」で聞いた商業科2年生14名が、「高校生である私たちにはできることは何かあるのか？」を考えました。そして、「商品開発」の授業で産学連携を実施、地元の卵を使用した賞味期限が37か月の災害食のパンの缶詰「松の陽だまりパン」を、2年の歳月を掛けて開発、被災地の方々からの声を形にすることができました。

その後「商品を完成させて終わり」ではなく、SDGs（エスディーゼーズ：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））世界を変えるための17の目標に基づいて、被災者だけではなく、福祉施設・子ども食堂・生活困窮者等への支援を継続できる組織づくりを構築しています。

そこで、この松の陽だまりパンを使用することで、私たちは防災に対する様々な啓発活動・募金、寄付活動・販売実習・広報活動等を年間50回程度企画・実践をしてきました。また、これらの活動をより多くの方々に効率良く広めるために、様々な大会・コンペティション・本校のHP・Twitter等のWeb・ソーシャルメディア、NHK・SUNテレビ・姫路ケーブルテレビ・Kiss FM KOBE・BAN-BANテレビ、ラジオで毎月の放送枠を頂いたことによるマスメディアの活用を実施しています。

上記の活動によって、防災に関する県民・日本全国の方々の見方・考え方を「他人事（ひとごと）」ではなく、「自分事」として、気持ちが少しずつ変化させ、防災意識の向上をさせていくことを活動の目的としています。



## 6. 販売形態・期間

- ⑦ 原則は3ケース（1缶432円税込み 1ケース24缶入り）で送料無料で販売をしていますが、個数が少ない場合も本校に問い合わせいただければ、販売させていただいています。それ以外の販売形態として、百貨店・AEON等の商業施設、地元の行事等での販売実習を年に10回程度実施させていただき、販売しています。

## 7. 協力者等

- ⑦ 学校間連携：東日本大震災の被災地 宮城県農業高等学校と本校のプロジェクトを協働実施  
産学連携：栃木県のパン・アキモト様に松の陽だまりパンの製造委託  
高大連携：兵庫大学の教授から本プロジェクトの指導助言・本校での防災講演会の講師として招聘・本商品の試食アンケート、防災意識に関するアンケートの集計・実施

## 8. 商標登録の有無

⑧ 無

## 9. 今後の課題・展望等

今後は、被災者の方々を一日でも早く支援するため、従来の私たちの考えとは異なる発想が必要であると考えました。そこで、本校がプロジェクトの「本部校」となり、全国各地の「連携校」と「学校間連携」をし、協働して被災地支援活動を可能とする仕組みづくりの構築をします。そこで現在は、東日本大震災の被災地である宮城県農業高等学校と「学校間連携」を実施し、本校の被災地支援活動のノウハウや資料・物品等を無償で提供し、本プロジェクトを推進している最中です。